

長野県社会福祉士会・四半世紀 No.3 (2003年～)

2003年

- 4月 1日 ○障害者支援費制度施行
- 5月 9日 ○長野県知事に「介護認定審査会に関する提言書」提出
- 8月 7日 ○長野県知事に「県民参加の政策作り推進事業に関わる提言書」提出

2004年

- 5月15日 ○公開講座「ソーシャルワークを地域で展開できるシステム作りへの提言」
講師：大橋謙策氏（日本事業大学教授）
会長：小山順子、副会長：関裕一、村岡裕、丸山克之
- 8月22日 ○公開セミナー「もえつき症候群への処方箋」
教育・福祉・医療関係者のバーンアウトにどう対処するか
講師：水沢都加佐氏

2005年

- 長野県知事、市町村長宛に要望書提出
 - ・「地域包括支援センターへの社会福祉士配置について」
 - ・「児童家庭相談体制のあり方について」
 - ・「障害者認定審査会委員推薦および相談支援事業運営協議会への参画について」

2006年

- 障害者自立支援法施行、介護保険法一部改正 地域包括支援センター開始
会長：小山順子、副会長：関裕一、村岡裕、丸山克之

2007年

- 2月11日 ○第1回『長野県福祉まるごと学会』（記念講演、パネルディスカッション）
記念講演：「わが国の社会福祉施策の行方」
講師：古都賢一氏（厚労省老人保健局振興課課長）
- 1月19日 ○県士会ニュースNo.100号達成

- 5月12日 ○社団法人長野県社会福祉士会設立総会
会長：小山順子
副会長：関裕一、村岡裕、丸山克之、高橋保行



- 8月25日 ○社団法人化記念式典・公開セミナー
講師：神田織音氏（講師）
- 10月12日 ○長野県知事に「より良い人材確保のための要望書」6団体で提出

2008年

- 2月 5日 ○長野県副知事に「社会福祉士の登用についての要望書」3団体で提出
- 2月24日 ○第2回「長野県福祉まるごと学会」
テーマ：「これからの地域福祉のあり方と社会福祉士への期待」
講師：大橋謙策氏（日本社会事業大学学長）

**社団法人 長野県社会福祉士会
記念式典開催される**

平成19年8月25日(午後1時30分)から長野市のメルパルクNAGANOを会場に法人化記念式典が出席会員64名、理事13名、長野県社会部長始め来賓25名の出席により開催されました。

式典では会長から「全国で18番目となる悲願の社団法人化であり、来賓各位始め本部他支部からの支援に感謝している。平成15年の法人化準備委員会発足から6年、単座業や公益事業としての公開学習会を重ねこの日を迎えた。法人格を取得したこれからの正念場、社会に光を放つ会としていきたい」と挨拶があり、続いて長野県社会部長から「法人でなければできない法人後見を視野に入れた成年後見制度への取り組みに期待す」日本社会福祉士会から「関係各機関との連携により研修を重ね新しい道を一緒に切り開いてほしい」神奈川県社会福祉士会から「法人化により成年後見で大きな役割を果たすことができる。社会的責任をもつ法人として生まれてくる課題を克服する第二段階に入った」とそれぞれ挨拶をいただきました。

続いて公開セミナー講師神田織音さんによる口演「成年後見制度講話」が一般の方も含め150名が参加し行われました。

この講話は横浜市社会福祉士会と神田さんが実践ある話を元にしたもので、認知症の老姉妹を助けた詐欺事件、息子が老親の財産を食い込んでいた事例、心身障害児の成人した後の生活を支える後見人の必要性のお話を実際に目に浮かぶように語られ、関係会長が